

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : サンケイエムダイファー水和剤
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号
 会社名称 : サンケイ化学株式会社
 住所 : 〒366-0032 埼玉県深谷市幡羅町1-13-1
 担当部門 : 開発部
 電話番号 : 048-572-4171
 F A X 番号 : 048-572-4174
 緊急連絡先 : 同上
 整理番号 : B - 13
 推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類
 物理化学的危険性
 可燃性固体 : 区分に該当しない
 自然発火性固体 : 区分に該当しない
 自己発熱性化学品 : 区分2
 水反応可燃性化学品 : 区分1
 健康に対する有害性
 急性毒性(経口) : 区分に該当しない
 急性毒性(経皮) : 区分に該当しない
 急性毒性(吸入) : 分類できない
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 区分1
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 区分1A
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系、腎臓、免疫系)
 区分2(甲状腺、呼吸器系、血液系)
 環境に対する有害性
 誤えん有害性 : 分類できない
 水生環境有害性 短期(急性) : 区分1
 水生環境有害性 長期(慢性) : 区分1

上記に記載がないものは、「区分に該当しない」か「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 大量の場合、自己発熱：火災の可能性
 水に触れると自然発火するおそれのある可燃性/引火性ガスを発生
 皮膚刺激
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 発がんのおそれ

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器系、腎臓、免疫系)の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(甲状腺、呼吸器系、血液系)の障害のおそれ
 水生生物に非常に強い毒性
 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

： 【安全対策】

涼しい所に置くこと。
 水と接触させないこと。
 湿気を遮断し、不活性ガス下で取扱い保管すること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避け、吸入しないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面等を着用すること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

： 【応急措置】

皮膚についた場合：固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと。
 火災の場合：消化するために強化液、泡、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物を使用すること。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 特別な処置が必要である(4. 応急措置を参照)。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
 漏出物を回収すること。

： 【保管】

積荷またはパレット間にすきまをあけること。
 日光から遮断すること。
 乾燥した場所又は密閉容器に保管すること。
 施錠して保管すること。

： 【廃棄】

内容物や容器は、当該規則に従い都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	含有量
マンガニズ エフリンピ スジ チカハメト(一般名：マンネグ)	75.0%
鉍物質微粉 等	25.0%

成分	含有量	CAS No.	化管法 管理番号	官報公示整理番号	
				化審法	安衛法
マンネグ	75.0%	12427-38-2	1種61	2-1841	—
ヘキサメチレントランシ	1.5%	100-97-0	1種258	5-1155	—
結晶質ソカ(石英)	0.6%	14808-60-7	—	1-548	—
酸化亜鉛	1.7%	1314-13-2	—	1-561	—

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
異常が続く場合は、速やかに医師の手当てを受けること。
マンネブによる気管支炎に対してはテオフィリン、抗生物質製剤の投与が有効である。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石けんを使って洗浄する。
マンネブによる皮膚症状にはステロイド剤の投与が有効である。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
意識のある場合、大量の水を飲ませるなどして吐かせ、直ちに医師の手当てを受けること。意識ない場合は、吐き出させないで直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 強化液、泡、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物
- 使ってはならない消火剤 : 水
- 火災時の特有の危険有害性 : 燃烧又は高温により有毒なガス（硫黄酸化物等）が生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。
- 特有の消火方法 : 速やかに火元への燃烧源を断ち、消火剤を用いて消火する。
容器及び周辺に散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏出時の処理を行う際には保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
漏出物が河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用する。
大量の場合は、漏出したものをすくい取り、又は掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策 : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。
取扱いは換気の良い場所で行い、作業場の換気は十分行う。
取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。
屋外での取扱いはなるべく風上から作業する。
取扱いの都度、容器を密閉する。
眼、皮膚、衣類に付けないこと。
保護手袋及び保護眼鏡／保護面を着用すること。
高温、火気の近くで取扱ってはならない。
- 局所排気・全体排気 : 『8. ばく露防止及び保護措置』を参照
- 接触回避 : 情報なし
- 衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

- 保管 安全な保管条件 : 食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。
 小児の手の届く所へ置かない。
 水と接触して刺激性で引火性のガスが発生する恐れがあるので、水溶液とは同一場所に貯蔵しない。
- 安全な容器包装材料 : 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

- 鉍物性粉じん : E=3.0/(1.19Q+1)
 E:管理濃度(mg/m³)
 Q:当該粉じん遊離けい酸含有率(%)
- マンガ ン : 0.05mg/m³

許容濃度

日本産業衛生学会

- 鉍物性粉じん : 吸入性結晶質シリカ
 0.03mg/m³
- 酸化亜鉛 : 第二種粉じん 吸入性粉じん 1mg/m³、総粉じん 4mg/m³

ACGIH

- 鉍物性粉じん : 結晶質シリカ
 TWA0.025mg/m³
- 酸化亜鉛 : TLV-TWA 2mg/m³、
- マンガ ン : MSHA TWA 5mg/m³

設備対策

- : 屋内で取扱う場合には、全体換気装置を設置する。
 できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
 取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具

- 呼吸用保護具 : 防護マスク
- 手の保護具 : 不浸透性手袋
- 眼、顔面の保護具 : 側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型
- 皮膚及び身体の保護具 : 長ズボン・長袖の作業衣、帽子など

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 水和性粉末
- 色 : 淡黄緑色
- 臭い : 無臭
- 融点/凝固点 : 情報なし
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 情報なし
- 可燃性 : 情報なし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : 情報なし
- 引火点 : 情報なし
- 自然発火点 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- pH : 4.58 (20%水溶液)
- 動粘性率 : 情報なし
- 溶解度 : 情報なし
- n-オクタノール/水分配係数 (log 値) : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

密度及び／又は相対密度 : 0.29 (20°C)
 相対ガス密度 : 情報なし
 粒子特性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 加熱、水分、酸素による分解で、可燃性のガスを発生する。
 化学的安定性 : 粉塵爆発を生ずる可能性がある。
 危険有害反応可能性 : 情報なし
 避けるべき条件 : 情報なし
 混触危険物質 : 情報なし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 : ラット ♂♀ >5000mg/kg [区分に該当しない]
 経皮 : ラット ♂♀ >5000mg/kg [区分に該当しない]
 吸入 : 情報なし
 皮膚腐食性／刺激性 : モルモット 刺激性あり [区分2]
 眼に対する重篤な損傷性
 ／眼刺激性 : 軽度の刺激性(結膜発赤) [区分に該当しない]

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : 情報なし
 皮膚感作性 : モルモット 陽性 [区分1]

生殖細胞変異原性

製品 : 情報なし

発がん性

製品 : 情報なし
 結晶質剤 : 区分1A (IARC分類1)

生殖毒性

製品 : 情報なし
 ヘキサシ : 区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

製品 : 情報なし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

製品 : 情報なし
 マネブ : 区分2(甲状腺、呼吸器、血液系)
 ヘキサシ : 区分1(腎臓、呼吸器)
 結晶質剤 : 区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓)

誤えん有害性

製品 : 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

魚 : データなし
 甲殻類 : データなし
 藻類 : データなし
 (マネブにより水生環境有害性(急性)区分1、水生環境有害性(慢性)区分1とした)

残留性・分解性 : 情報なし

生態蓄積性 : 情報なし

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

土壌中の移動性 : 情報なし
 オゾン層への有害性 : 情報なし
 その他 水産動物に影響がある。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物 : 使用残りの農薬を不注意に廃棄したり、不要になった農薬を放置したりすると思わぬ事故を引き起こすことがあるので、その処理に当たっては関係法令を遵守し適正な処理を行うこと。
 汚染容器及び包装 : 空容器、空袋等はリサイクルできないため、関係法令を遵守し、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に処理を行うこと。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連番号/品名 : 2210(マンネブ)又はマンネブ化合物(マンネブの含有率が60質量%以上の物質)
 国連番号/品名 : 3077(環境有害物質、固体)
 国連分類 : 4.2(自然発火性物質)
 容器等級 : III
 国内規制 陸上輸送 : 道路法等の規定に従う。
 海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
 航空輸送 : 航空法の規定に従う。
 特別の安全対策 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 車両、船舶には保護具(手袋、メガネ、マスク等)を常備する他、緊急時の処理に必要な消火器、工具等を備えておく。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質 : N, N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン(別名マンネブ)(管理番号:61)
 1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1.1(3,7)]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)(管理番号:258)

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
 結晶質シリカ(政令番号:165の2)
 酸化亜鉛(政令番号:188)
 N, N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン(別名マンネブ)(2024年4月1日以降、表示義務対象物質(政令番号:83-2))
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
 結晶質シリカ(政令番号:165の2)
 酸化亜鉛(政令番号:188)
 N, N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン(別名マンネブ)(2024年4月1日以降、通知義務対象物質(政令番号:83-2))

毒劇物取締法 : 該当しない
 消防法 : 該当しない
 船舶安全法 : 該当しない
 航空法 : 該当しない
 農薬取締法 : 登録番号 第10559号

作成日 2006年 4月 26日

改訂日 2023年 3月 1日

16. その他の情報

参考文献

- ・ JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学物質等の分類方法
- ・ JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 — ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- ・ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE-CHRIP)

この安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。